

職員の皆様へ

国土交通大臣の前原誠司です。大臣就任の時のご挨拶でもお話ししましたが、現在、私だけでなく多くの国民が、将来の日本に対する漠然とした不安というものを感じていると思います。その漠然とした不安というものは、国土交通省に勤務されている皆さん方も同様に感じていると思います。では、その漠然とした不安は一体どこから来ているのだろうと、私なりに考えましたところ、主に3つあると思っております。

1つは、人口減少です。我が国は、2004年をピークに人口がどんどん減少していく社会に入っています。出生率を1.37とすると、平均すると、毎年90～100万人の人口がこれから減る、大体世田谷区と同じ位の人口が、平均すると毎年減っていく。人口が減っていくということは、我々にとって非常に不安になっていくものの1つであります。

2つ目には、日本は他の先進国が経験したことのないような、急速な少子高齢化を迎えています。今の少子高齢化がこのまま進むと、2050年には65歳以上の人口比率は40%を超えと言われております。今は5人に1人が65歳以上ですが、2050年には、5人に2人が65歳以上の人口比率となり、15～64歳までの生産年齢人口は現在約66%から2050年には51%になると言われています。当然ながら、若い人達の負担が増える、これからリタイアをして、社会保障の恩恵を被ろうという世代の方々のサービスが低下していく。そういう意味で、この少子高齢化・人口減少というものが、我々国民の大きな不安材料としてのし掛かっております。

3つ目が、日本のGDPの約1.8倍といわれる長期債務です。これだけの莫大な借金を抱えて本当に返せるのか。これが会社であれば、とうに破産・破綻・倒産をしておりますし、また家庭であれば自己破産せざるを得ない状況になっております。それ位大きな、国としての借金を抱えています。

皆さんは志を持って、お国のために役に立ちたいという思いを持たれて国土交通省に入省されたことと思います。私も皆さんと同じように、地域のお役に立ちたい、国のお役に立ちたい、そういう思いで政治家の道を志して参りました。そして、皆さんが見ている日本も、私が見ている日本も、大きな共通した問題点を抱えています。

私は、これらの問題を皆さんと一緒に解決していきたいと思っております。そのためには、是非皆さんには、国土交通省の組織の一員としてだけでなく、行政を運営し、国民に共に仕える立場として、どういう税金の使い道があり得るのか、正しいのかということ、政権交替という1つの節目で、今までの仕事を、一度、頭の中でリセットして頂きたい。そして、より良い国土交通政策に立て直していかなくてはならないと思っております。これはある意味で大きな革命に似た作業かもしれません。しかしこのような大事業を、まさに皆さんのような優秀な方々と、丁々発止の議論をさせて頂きながら進めて参りたいと、私は思っております。

民主党は「脱・官僚」とか、あるいは役人が全て悪いのではないかということで、皆様方の中には警戒感を持っておられる方々もおられるかもしれません。しかし、少なくとも私は、全くそういう気持ちを持っておりません。皆さんから、国に対する思い、国土交通省の仕事、国土のあり方に対する思いを出来るだけ伺って、皆さんとの対話の中で大きな方向転換をしていきたいと考えております。できるだけ多くの皆さんと直接お話ししたいと思います。メールも歓迎いたします。頂いたメールは必ず読んで、時間はかかるかもしれませんが返信もしたいと思います。

国土交通省の職員の皆さんの絶大なるご協力・お力添えを心からお願い申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

[イントラネットトップページへ](#)